

## 日吉台地下壕保存の会

## 会報

## 第25号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL. 045-562-1282

(年会費) 一口千円で、一口以上

郵便振込 (口座番号) 横浜 5-74921

(加入者名) 日吉台地下壕保存の会



「第二回平和のための戦争展」の会場大倉山記念館

写真：同館パンフレットより

目 次	ページ		
今年度も「平和のための戦争展」を		日吉台地下壕見学会感想文	4
成功させましょう	2	連載・日吉台地下壕	
「第二回平和のための戦争展」への		当時の関係者の思い出話 (2)	6
想い	3	幹事会報告	7
「第二回平和のための戦争展」		「第二回平和のための戦争展」	
準備についてご協力のお願い	3	実行委員会報告	8
		お知らせ・お願い	8

今年度も「平和のための戦争展」を成功させましよう

事務局長 寺田 貞治

今年は、学徒出陣五〇周年にあたります。昭和一八年二月一日、神宮球場の壮行会に集った大学生たちは、ペンを捨てて銃をとり、戦場にかけいきました。そして、多くの有為な若者たちが、南の空に海に、散っていきました。

また、一方で中国人、朝鮮人の強制連行、強制労働問題、従軍慰安婦問題など、アジアの国々から、日本の過去の戦争責任が鋭く問われています。日中戦争から太平洋戦争へと一五年にわたりて続けられた戦争とは、一体なんだつたのでしょうか。半世紀が過ぎ、戦争体験を持つ人も減少し、戦争当時の

貴重な資料や遺跡も失われつあります。しかし、平和を維持していくためには、あの悲惨な戦争の体験を風化させてはならないと思います。

そのためには、私たちは戦争の実相を正しく理解し、戦争の真実を語り伝えていかなければなりません。

横浜市や川崎市は、先の大戦で大空襲を受け、大きな被害を受けたにもかかわらず戦争の傷跡をとどめるものは殆どありません。日吉台地下壕や登戸研究所は、戦争の実相が凝縮した極めて貴重な遺跡であることが、私たちの調査によって明らかにされ、戦争を語る第一級の遺跡といえます。

私たちは、日吉台地下壕や登戸研究所が語る戦争の実相、真実を、多くの人々に語り伝えるために、昨年に引き続き、「平和のための戦争展」を開催することになりました。詳しくは、実施要項をご覧下さい。  
今年度は、横浜で開催しますので、横浜市教育委員会の共催と、横浜市の後援を得たいと考えております。

会員の皆様方のご賛同、ご参加を切にお願い申し上げます。

話は変わりますが、保存の会が発足して四年七ヵ月がたち、会員登録された人数は六百人を越えました。また、沢山の人々を地下壕に案内しました。多くの人々は、本や、映像では味わえない戦争の追体験ができ、タイムスリップした様だと話していました。



日吉台地下壕は、戦争を知らない人々に戦争の実相を語り伝えるのに格好の場所であり、何としても保存していくからは、史跡のための整備、保存は出来ないと回答がありました。が戦争と平和を考えました。が戦争と平和を考える道は残されています。  
これからも粘り強く保存運動を進めていきたいと考えておりますので、今後ともご支援のほどをお願い申し上げます。

## 「第一回平和のための戦争展」への 想い

想い

今秋は学徒出陣に関する特

別番組が様々放送されました。

内容や捉え方も様々で、冷静  
に事実のみ伝えようとするも  
のもあれば、情緒が前面に出  
ているのもありました。

どの番組にも老年を迎えたか  
つての学徒達の、平和への意  
志が感じられましたが、淡淡  
と描かれたメッセージ程、私  
は正確に強く受け止める事が  
出来、私達の戦争展も情に流  
されない内容にしたいと心に  
決めました。

第二回平和のための戦争展  
は、来年二月、横浜市港北区  
大倉山で開催します。小高い  
丘の上に建つ大倉山記念館で、  
ギャラリーには写真パネルや  
展示品を並べ、ホールや会議  
室では講演会や討論会等も予

実行委員長 龍岡 敦子

定しています。登戸研究所と

日吉台地下壕に加え松代の地

下壕関係者の講演もあり、又  
戦争体験者の方々の貴重な話  
も聞けそうです。八月に発足

した実行委員会には前回のメ  
ンバーのほとんどが参加して  
くれましたし、何より嬉しい

のは、高校生が十数名、加わ  
つてくれた事です。一〇代か  
ら七〇代まで、幅広い智恵と

力で、大声で叫ぶのではなく、  
静かな声で語りかける、深い  
内容の戦争展にしたいと思つ  
ています。今回もテーマは  
「私の街から戦争が見える」  
です。

大倉山は梅の名所でもあります  
。どうぞ、一人でも多くの  
皆様に足を運んで頂けますよ  
うお願いいたします。

## 「第二回平和のための戦争展」 準備についてご協力のお願い

実行委員会では、標記の件につき着々と準備をすすめていますが、何分日常の仕事の片手間にやることとて、人手が不足しております。会員の皆様のなかでお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、事務局の寺田までお電話ください。改めて日時のご連絡などさせていただきます。

また、遺品、資料などお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご一報いただきたく存じます。寺田までお願ひいたします。

TEL. 045-562-1282

### 準備内容と担当責任者

写真撮影・パネル制作： 小池、渡辺、寺田

模型制作： 岡上、谷藤

パンフレット・ポスター・宣伝ビラ作成： 背戸、渡辺、寺田

講演・ビデオ・映画・遺品・資料： 渡辺、寺田

郵送事務： 全員

ブレイベント： 渡辺、寺田

中高生によるシンポジウム： 大湖

## 日立ロムロ地下壕

## 見学者ム云感想相応文

一九九二年一一月三日

神奈川県高等学校教科研究

会社会科部会歴史分科会

★とにかく驚いた。戦争を行なう場合には、これぐらいの設備はあって当然であろうが、現実に見せられると、その規模の大きさを思い知らされた。

★生れ育つた所（港北区新吉田町）のすぐ近くにこれほど重大な機能を持つた司令部が存在したことを一年前まで知らなかつたこと（しかもフィリピンには関心があり、レイテ作戦のこともそれなりには知つていたが、ここが作戦司令部だつたことを知らなかつたこと）について自分の歴史認識の浅さを痛感させられた。

★戦争に勝つためなら手段を選ばず、短期間で当時として素晴らしいものを作つたと

思います。

なにか目的は違うのですが、

現代の我々日本人にも通じるものを感じました。

★①貴重な史跡、未来に残すべき財産だと感じた。

②史料が少ないのは残念。残された時間は少ないので是非聞き取り調査をどんどん進めて欲しい。

③啓発をもつと進めて県民にもアッピールを！ 県をも動かすような運動になれば良い。

④慶應大学も保存していく方向になるためには、県と並行して推進すべきだ。

★横浜市にこのような重要な戦争遺物があるとは全く知らなかつたので見学できてよかったです。

★吉見百穴にこの間、吉見百穴も見学して

海軍の基地としての史跡はもとより、朝鮮人の強制連行としての歴史的意義について考

えさせられました。

この間、吉見百穴も見学して

来ましたので、今後の授業に取り入れていきたいと思いました。

★私たちは厚木飛行場付属の

高座工廠の地下工場の調査をすすめています。その意味で

大変有意義でした。今後、ご

指導と交流をお願いいたしま

このエネルギーを平和に活用

していただけたら。平和の有難さに感謝します。

★以前、松代の地下壕を見学したことがあり、大変興味深くお話を聞きすることができました。これから少しずつ

学習を深めていきたいと思いま

すが、本日は横浜市内にも、そ

れも大学内に壕があり、本當

が、沖縄、松代は巡査しました

が、本日は横浜市内にも、そ

れも大学内に壕があり、本當

す。高座工廠については八〇〇〇名の台灣少年工があり、現在、台灣にある彼らの組織、高座会と接触を保っています。市史の調査を通じて。

★個人的にはなかなか見学出来ないと聞いていましたので、今回の見学はとても嬉しく待ちどうしかつたです。先生の説明はとても興味を増すものでした。

民衆の生活と裏腹に、軍事費をこういうところに用いていたのかと考えました。勉強になりました。

★この夏に座間にある地下壕を見学しましたがコンクリートで固めてあり大規模なのに驚きました。

★日吉台地下壕見学に興味深く参加させていただきました。大切な遺産なので、是非保存活用できたら良いと思います。

★今回で二度目ですが、分厚

いコンクリートに包まれた地下壕の無機質的な冷たさ、薄気味悪さには戦争や軍隊のもの冷酷さや愚かさ、自己保身性みたいなものを感じさせられます。（自分は戦争を知らないのですが）

★戦争が人を狂わせてしまつたことを雄弁に語りつづけてくれている資料だと思います。立派で、大規模であればあるほど、傷跡の深さを感じさせます。

★こんなに大きく、そして実際に使われた壕とは今回初めて知った。松代の壕を以前見たことはあつたが実際に使われなかつたと思う。

★地下壕そのものの保存についてはしかるべき方法は思いつきませんが、地下壕を説明したパンフレット発行、資料館建設（無理でしたら壕のそばに地下壕を説明した看板）等できないものでしようか。

★整備して広く一般に開放してもらいたい。

★市又は県で史跡として保存する。場合によっては民有地も買収しては？

★ぜひ保存していきたいものである。横浜市や国に強く働きかけていくべきであろう。

### 地下壕保存についてのお考えをどうぞ

★少なくとも「観光」目的のものにはすべきではない。

★地下壕そのものの保存についてはしかるべき方法は思いつきませんが、地下壕を説明

したパンフレット発行、資料館建設（無理でしたら壕のそばに地下壕を説明した看板）等できないものでしようか。

★整備して広く一般に開放してもらいたい。

★市又は県で史跡として保存する。場合によっては民有地も買収しては？

★ぜひ保存していきたいものである。横浜市や国に強く働きかけていくべきであろう。

てはまだまだ知られていないことが多いと思いました。

生きた平和教育の最高の教材である。

★戦争に対する戒めとして保存を希望します。

★説明板、碑などを建てる。

さらに一層学習会・講演会などを推進する。壕内の整理と保存。

★ぜひ保存して、これからのお子供さんに語りつぎたいと思います。

★戦争と平和を最もよく理解するためには学年より見学させるとよいと思う。

★平和のための戦争遺跡として後世に残したい。

★一般公開の場を増やしたら良いと思います。

★地下壕の中に一部、当時の設備を復元し、様子がわかるようになつていただきたいと思います。

★一般公開の場を増やしたら良いと思います。

★地下壕の中に一部、当時の設備を復元し、様子がわかるようになつていただきたいと思います。

★ぜひ保存していきたいものである。横浜市や国に強く働きかけていくべきであろう。

連載

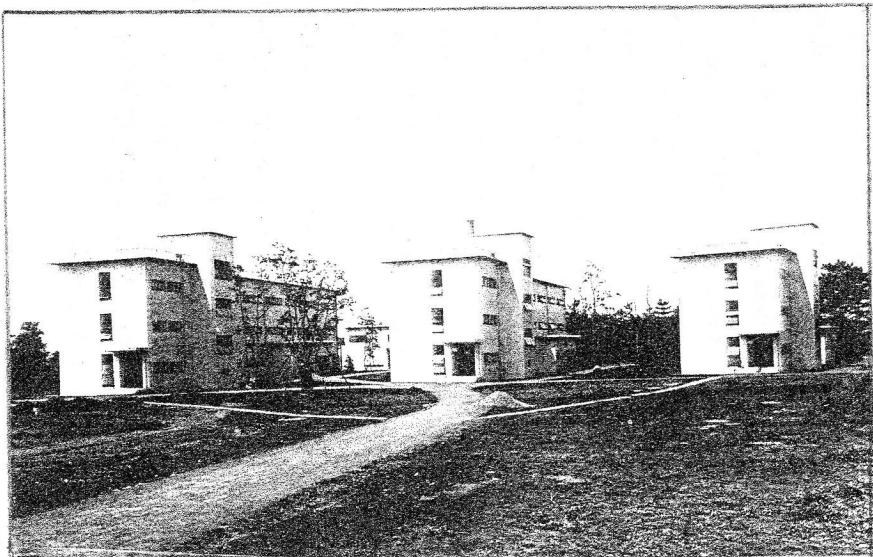
日吉口地下壕  
当時の関係者の  
田心い山口話 2

日吉移転前後 2

前回の中島氏のお話に出て  
くる前田晃利氏にご登場願い  
ます。

前田 晃利氏の話  
(ききて・寺田貞治)

私は慶應大学を昭和二六年  
一二月に纏上げ卒業し、鐘紡  
に入社した。間もなく一七年  
一月に海軍兵科予備学生とし  
て横須賀第一海兵団に入隊、  
実科教育を半年受け、次いで  
横須賀通信学校で通信教育を  
うけ、一八年一月に少尉に任  
官、戦艦「扶桑」に乗艦した。  
三ヶ月後に横須賀通信学校の  
教官になり、一八年八月には  
「特修科学生」として通信の



昭和12年 寄宿舎東面を望む  
慶應義塾大学日吉寮開設五十周年記念誌より

高等教育を受け、一九年一月  
中尉に任官、司令部付となり、  
パラオで旗艦「武藏」に乗込  
み通信参謀付となつた。  
しかし、それも束の間三月  
は巡洋艦「大淀」に移つた。

には古賀長官以下多くの幕僚  
が戦死し、「武藏」も損傷し  
たため、生残つた司令部員は  
飛行艇で帰国した。新司令部  
は巡洋艦「大淀」に移つた。

「大淀」に乗艦している時、  
長官に呼ばれ「軍艦が激滅し  
たので、司令部は通信司令設  
備さえあればよいから上陸し  
て、軍令部に便利で秘密を守  
れる場所はないか」と問われ、  
慶應の予科時代に入寮してい  
た日吉の寄宿舎を薦めたら、  
直ちに横須賀から軍令部差し  
回しの自動車で参謀長のお供  
をして日吉まで案内させられ  
た。すっかり寄宿舎が気に入  
られ、司令部が日吉に来るこ  
とになつた。

慶應の予科の学生時代に寄  
宿舎の「北寮」にいたが、再  
び「海軍大尉」として奇しく  
も同じ北寮に居住することになつた。

古賀長官戦死の模様につい  
て、中島氏は次のように語つ  
ておられます。

+++++

中島親孝氏の話

(さききて：寺田貞治)

昭和一九年三月末、自分は

連合艦隊司令部があつたバラ  
オにいた。三月二九日からバラ  
オが攻撃を受け連合艦隊の旗艦「武藏」も損傷し、呉に  
回航された。バラオの空襲によつて連合  
艦隊司令部をミンダナオ島の  
バダオに移すため三一日、司令長官古賀峯一は幕僚と共に  
二機の大型飛行艇で飛び立つ  
た。しかし、古賀長官の一番機はセブ島近くの海面に墜落  
して死亡した。二番機もセブ  
島に不時着した。自分はこれ  
らの飛行機に乗らなかつたの  
で助かつた。(生協ニュース教職員版第四  
五号より抜粋転載)

## 第六回幹事△云報生口

九月二二日一八時、

藤山記念館中会議室

## 報告事項

一、八月二九日親子劇場川崎

二、八月三〇日横浜市教育委  
員会望月氏と会談三、九月四日吉台地下壕掘  
削に従事した朝鮮人の金仁  
圭氏から聞き取り調査四、九月一一日横須賀市追浜  
の夏島地下壕の調査五、九月一八日地下壕写真撮  
影六、一〇月九日横浜市高校教  
職員組合の地下壕見学会予  
定七、「第二回平和のための戦  
争展」第三回実行委員会

(九月一六日開催)について

## 第七回幹事△云報生口

一〇月二一日一七時、

日吉地区センター

## 報告事項

一、一〇月二一日中原市民館の  
蟹ヶ谷地下壕見学会三名参  
加二、一〇月六日港北区民会議  
第一回分科会三、一〇月九日横浜市高等学  
校教職員組合の地下壕見学  
会二一名参加四、一〇月一六日学徒出陣五  
〇年を考える集い、いま問  
い直す「学徒出陣」への道五、一〇月一六日港北区民活  
動グループ交流会六、一〇月一七日横浜市勤労  
者福祉協会の地下壕見学会七、一〇月二三～二四日慶應  
高校日吉祭で地下壕の展示八、一〇月二十五日港北区民会  
議委員の地下壕見学会予定

## 九、一〇月二七日慶大日吉担

当理事小谷津教授と鮫島会  
長、寺田事務局長が会談予  
定一〇、一一月一六日港北区民  
会議A分科会予定一一、一一月二六日慶應生協  
学生委員会の地下壕見学会  
予定一二、一一月二七日水交會  
(元海軍軍人の会)の地下壕  
見学会予定一三、一一月二八日大学生協  
東京地連主催ピースフェス  
ティバル予定一四、一二月一〇日川崎高校  
の先生、生徒の地下壕見学  
会予定一五、一二月一二日「第二回  
平和のための戦争展」ブレ  
イベントで旧陸軍登戸研究  
所見学会予定一六、一九九四年一月二三日  
「第二回平和のための戦争

\*前号記載の通り

展」プレイベントで地下壕見学会予定

「第一回平和のための戦争展」

第4回実行委員会

10月21日一時

日吉地区センター

議事決定事項あらまし

1994年2月8日(火)

\*大倉山記念館

13日(日)

\*主な意見

1994年2月8日(火)

13日(日)

午前・映画、ビデオ

午後・講演

\*期間中ギャラリーで展示

\*一二日(土)

午前・映画、ビデオ

午後・講演

\*一三日(日)

午前・戦争体験者の話

午後・中高生によるシン

ポジウム

13日(日)

①見た人がいろいろイメー

ジするようなパネルを作

\*準備について

三ページを参照

りたい

②地下壕だけでなく連合艦隊に関するものについてもパネルを作るとよい

③遺品については地下壕のものでなくても、戦争の遺品であればよい

お知らせ

旧陸軍登戸研究所見学会

日時 12月12日(日)

午前10時集合

集合場所 小田急 生田駅

改札口

参加費 500円(資料代)

ご案内 法政二高 渡辺賛二

先生

歩きやすい服装、履き物で奮つてご参加ください。

お願い

★「第二回平和のための戦争展」賛同者、賛同団体を別紙の通り募集いたします。

一人でも多くの方々のご協力ををお願いいたします。

★会費未納の方は同封の振込用紙でご送金くださるようお願いいたします。

予告 来年1月13日(日)

日吉地区地下壕見学会

